

第7回 大分市バリアフリー基本構想推進協議会

次 第

日時：平成28年2月16日(火)14:00～

場所：コンパルホール 300会議室

開 会

議 事

1. 今年度の取組状況

特定事業計画進捗状況

関連事業計画進捗状況

生活関連施設での取組状況

心のバリアフリーの取組状況

その他の取組状況

- ・横断歩道段差解消の取組について
- ・大分駅府内中央口広場屋外トイレ整備について
- ・各種計画における基本構想の関わりについて
- ・大分市技術実務研修について

2. 第6回協議会における意見について

3. バリアフリーに関する要望について

4. 平成28年度の年間予定について

5. 意見交換

第7回 大分市バリアフリー基本構想推進協議会の結果（意見要約）

- 大分市バリアフリー基本構想の策定後、民間の事業者の方々の厚い協力があり、着実に進んでいるという実感を持っている。
- 横断歩道部分の歩道切り下げを行う時には、スムーズ横断歩道も積極的にやっていただきたい。
- 盲導犬用のトイレができることは大変積極的ですばらしいと思う。
- スーパーのマルミヤさんがかなり熱心にバリアフリーに取り組んでいただいととてもありがたい。
- 市役所前の横断歩道橋の旧NTT側の歩道や県庁別館側の横断歩道橋の階段がある歩道の幅員が狭い。県庁別館側の歩道については、視覚障がい者が歩いていたら車道に落ちるので、行政が率先してほしい。
- 市がバリアフリー基本構想で指導するのに、民間はしているのに、指導する側が率先してしてほしい。
- 市役所から東に行って府内五番街行こうとしたら、遠回りしないといけないというもどかしさがあり、何とかなればありがたいと思う。
- 駅前の国道10号の歩行者用の信号待ちがとても長いので、地下に急ぐ方も多。利用状況＝ニーズではないかもしれないので、そのことも併せて検討してほしい。
- 2年前の基本構想時には、不確かな計画案は載せるのは厳しいという状況の中で、なんとか循環バスの案を入れていただいた。実際に社会実験が行われて大変喜ばしい。
- 循環バスのルートを増やしていただきたいと思っていたので、ルートの変更が行われて利便性が高まることを期待する。
- 大道金池線の循環バスのバス停で、歩道のマウンドアップを行った場所は、勾配が急でつまずいた。歩道側で処理を行うのではなく、車道を下げるなど車道側で対応することも検討してほしい。
- 交通について、トキハ前のバス停に時刻案内板があるが、大分駅のところにも同じ案内板を作っていただきたい。
- 府内中央口駅前広場の西側のバス停に風よけがあった方がよい。
- これからの工事・設計につきまして、高齢者についての観点を随時、あちこちに入れていただきたい。
- 大分市のバリアフリーは2014年に基本構想がスタートしたばかり。これからも是非早い対処で、必要なところを改善していく必要があるかと思う。
- 生活関連施設には医療施設が少ない。医療施設に働きかけを行い、生活関連施設の見直しを今後行う必要がある。
- バリアフリーをどういうふうに進めていくかの基本理念は、何も無いところからはなかなか生まれにくい。実際にバリアフリー事業を進めていくプロセスの中で理念が定まっていくというものはないので、基本理念に対しての再点検と、方針の再点検が重要。

- 大分駅周辺重点整備地区をモデルケースとして、今後モデルケースで成功したことを他の地域にどう展開するのかを考えなければならない。
- 今後、他の地域に展開していこうとするのであれば、他の地域の基本構想を作る前に、他の地域の現状把握を進めておかないと。
- 他の地域での基本構想つくりのための現状把握には、支所と一緒にやっていくのが良いのではないか。
- 福祉と都市計画の融合、それから大分市と大分県の関係性の強化というのも更なる課題としてあり得る。
- 大分県が行っているように、大分市でも市内の建物でバリアフリーに素晴らしく対応できている施設などを表彰するなど、褒めていく制度みたいなものを、県との連携を考えながら進めていけるのではないか。
- 県のバリアフリー行政は、福祉系のメンバーが多くて、市の方は都市計画系のメンバーが多いので、そういう意味では融合することに非常に意味がある。
- こういった基本構想は重点整備地区に限ってしか手が回らないことになりがちだが、市域全体の情報や要望を拾ってくれることは大変すばらしい。
- 支所単位での状況をきちっと把握していくというのはPDCAのこれからの重要な新しい課題かと思しますので、ぜひ何らかの仕組みを作っていただきたい。
- それと表彰制度もありじゃないか。県の構想も委員会もあるので、毎年は無理でも、2年に1回、4年に1回、そういったのを出し合うような、相互の関係付けを深めるようなことも十分に現実味があるのではないか。
- 他都市で、大分が真似した方がいいような事例が出たら、積極的に取り込んでいくべきと思う。
- 車いすを竹町で借りても、例えば駅ビルでも返せるなど、連携の方法が事業者側でもできないか考えようかなと思っている。

